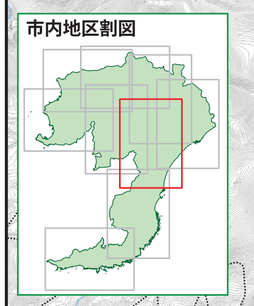
保存版

南房総市 防災マップ

丸山地区（南）



防災マップについて

このマップは、市内の土砂災害警戒区域や河川、海抜ライン等を表示し、地域によってどのような災害のおそれがあるかを示した地図です。

災害の種類（土砂災害、洪水、地震、津波）によって、どこが避難場所となるか、確認しておきましょう。

●平久里川浸水想定区域

水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨によって、平久里川及びその支川が氾濫した場合の浸水深をシミュレーションにより予測したものです。令和元年12月23日に千葉県が公表したものを表示しています。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の支川の氾濫、シミュレーションの前提となる規模を超える降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

- 作成主体：千葉県
- 指定の前提となる降雨：平久里川流域の 24 時間総雨量 684.2mm

●浸水実績

過去に発生した風水害で、河川越水等による浸水実績のあった場所の大まかな位置を示しています。

●土砂災害警戒区域等

土砂災害防止法に基づき、千葉県が土砂災害の被害を受けるおそれがある区域を調査し、その結果を指定したものです。

指定予定は、令和３年以降に千葉県による警戒区域指定が予定されている区域です。

●津波

津波は地震に伴い襲来します。1703年の元禄地震クラスの地震では市内で６～８ｍ程度の浸水が想定されています。お住いの地域の海抜と、避難する先を確認しておきましょう。津波の避難は「より早く、より高く、より遠くへ」。

また、千葉県が発表した、「千年に一度あるいはもっと発生頻度が低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」が発生した場合の浸水想定ラインを破線により表示してあります。

●防災重点農業用ため池

ため池が豪雨や地震により万が一決壊した場合に、人的被害を与えるおそれのあるため池として、千葉県が指定したものです。ハザードマップが公表されているため池もありますので市のホームページ等で浸水範囲を確認しておきましょう。

凡　例

- 一時避難場所
- 広域避難所
- 津波避難ビル
- 消防本部・分署等
- 警察署・交番等
- 市役所
- 地域センター等
- 主要な道路
- 市域界
- 地区界
- 鉄道
- 河川
- 防災重点農業用ため池

海抜（目安）

- 15m
- 10m
- 5m

平久里川洪水浸水想定区域

想定される浸水深

- 5.0~10.0m
- 3.0 ～ 5.0m 未満
- 0.5 ～ 3.0m 未満
- 0.5m 未満

浸水実績

- 過去に河川越水等による浸水実績の情報提供があった箇所

土砂災害警戒区域等

- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（土石流）

指定予定

- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

津波浸水想定区域

- 津波浸水想定（想定最大規模）

0　500m　1,000m

1：12,500